

拠点ネットワークの 産学連携推進のための ワンストップ窓口設置

-機密保持契約の簡素化-



物質・デバイス領域共同研究拠点



人と知と物質で未来を創る

クロスオーバーアライアンス

拠点ネットワーク 物質・デバイス領域共同研究拠点の概要

共同利用・共同研究拠点の説明は文科省ホームページ：
http://www.mext.go.jp/a_menu/kyoten/

をご参照下さい。

2022年4月1日現在、共同利用・共同研究拠点として107拠点が認定されています。この中で拠点ネットワークは7拠点です。

物質・デバイス領域共同研究拠点に関しては下記URL

<https://five-star.sanken.osaka-u.ac.jp> をご参照下さい。

当拠点は第1期(2010-2015)での文科省期末評価、第2期(2016-2021)の期末・中間評価で**最高ランク”S”評価**を連続3回獲得し、**拠点ネットワークのモデルケース**との高い評価を得ております。

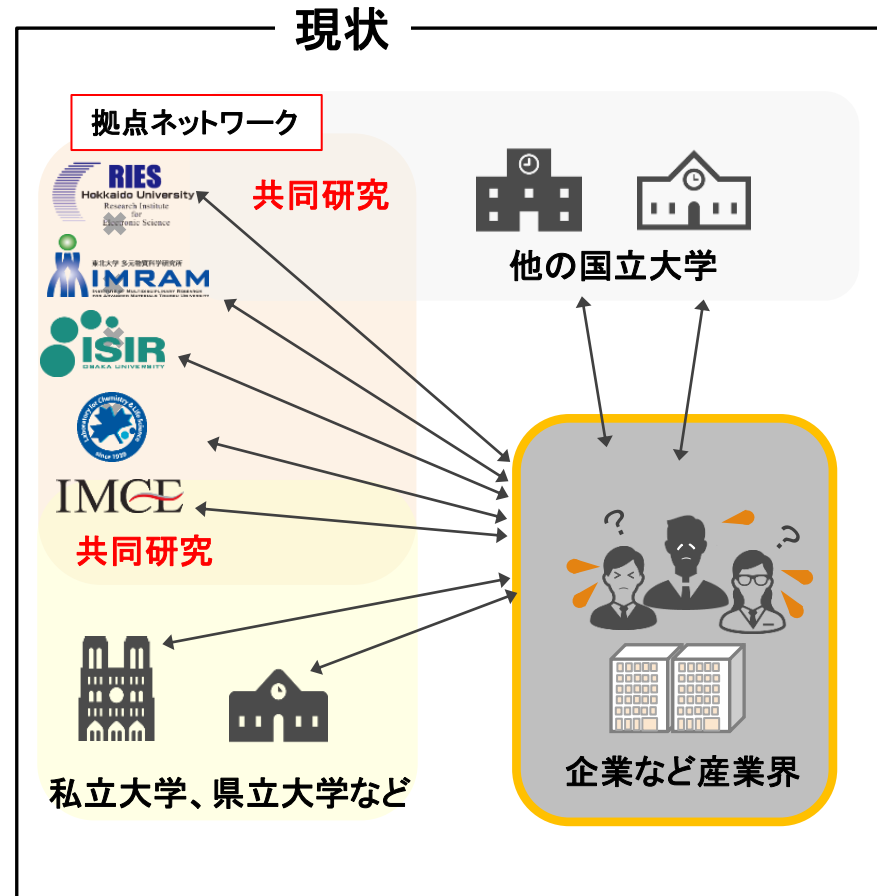
なぜ共通NDAが必要？

拠点ネットワークだから

- 1) 複数の研究所が参画
→ 複数の大学の知財
- 2) 秘密保持
→ 複数の大学の法務
独立法人化で利害が相反
- 3) 複数企業の参画は困難
→ 上市には複数企業要

今の個別契約では限界。

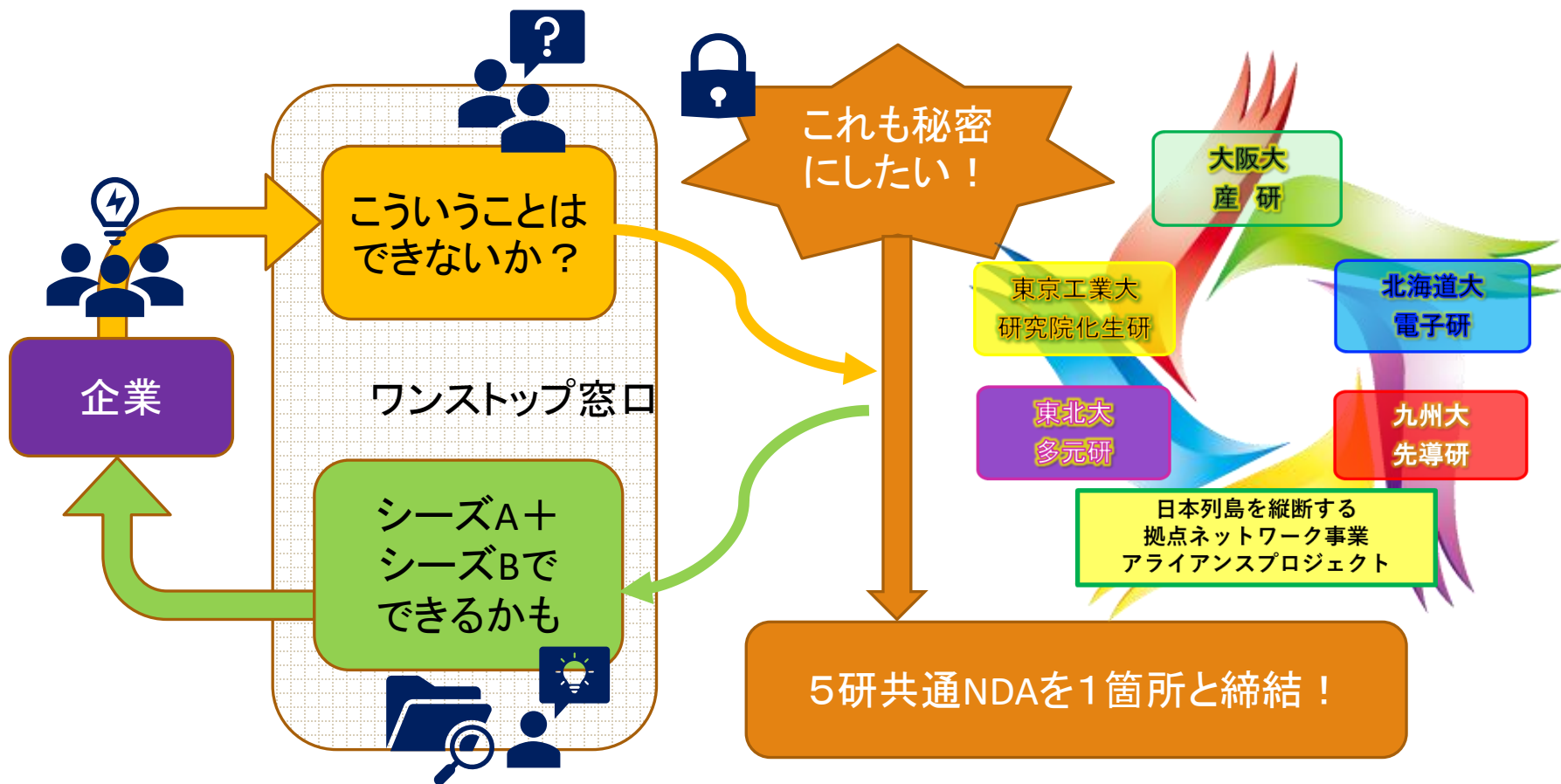
まずは情報が欲しいが、秘密保持契約は行いたい。
簡便な方法は無いか？？



～アクセスするのは1箇所に～

ワンストップ窓口の設置

拠点ネットワークを産学連携に活かす。



5研共通NDAのQ&A例

Q. それぞれの知財・法務が調整してから調印となり面倒な上、非常に時間がかかっていたが、どう変わる？

A. 雛形のままの5研共通NDAであれば、押印することについて5研全ての知財・法務・研究所所長承認済みなので、締結までの時間は大幅に短縮されます。逆にどうしても修正が必要な場合は、従来同様の個別契約も可能ですが、手間と時間はかかります。

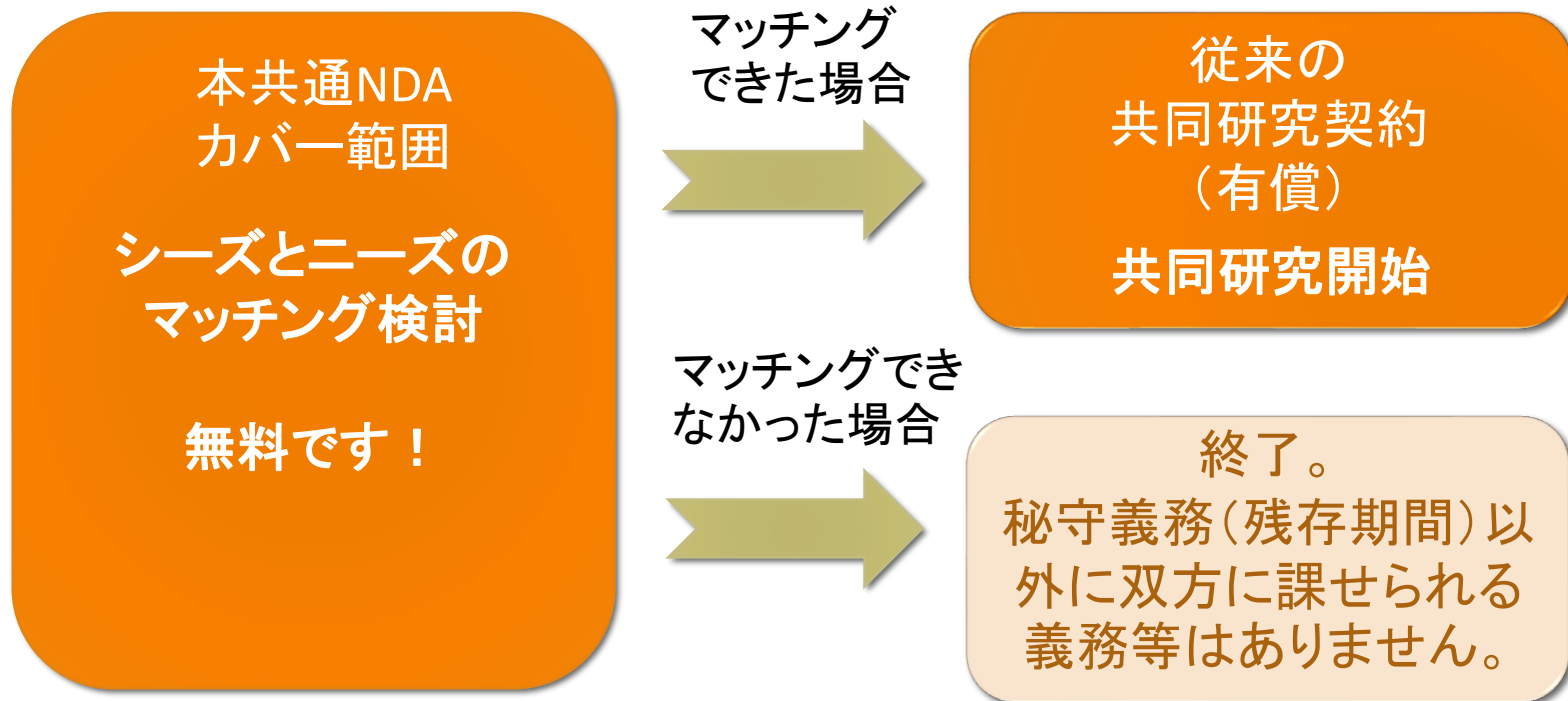
Q. そもそも共同研究まで行くかどうかわからない段階で、手間も時間もかけたくないが、ニーズそのものも秘密にした上で色々なシーズにアクセスしたい。

A. 共同研究契約までの情報のやり取りに関する範囲と明示しています。この範囲内であれば、むしろなるべく可能性のあるシーズの組み合わせを検討することができるのが当拠点ネットワークの強みです。

Q. 5大学全てに情報が開示されてしまうのでは？

A. 公開相手は必要最低限としており、学生や関連企業には開示しないと明示しております。また、公開先はワンストップ窓口にて管理しており、新たに開示先追加の場合は双方の合意のもとで追加されるという運用を行っていますので、例えば1研究室のみでの検討となる可能性もあります。その場合は該当研究室の該当教員以外には情報は公開されません。

共同研究契約は従来通りで。

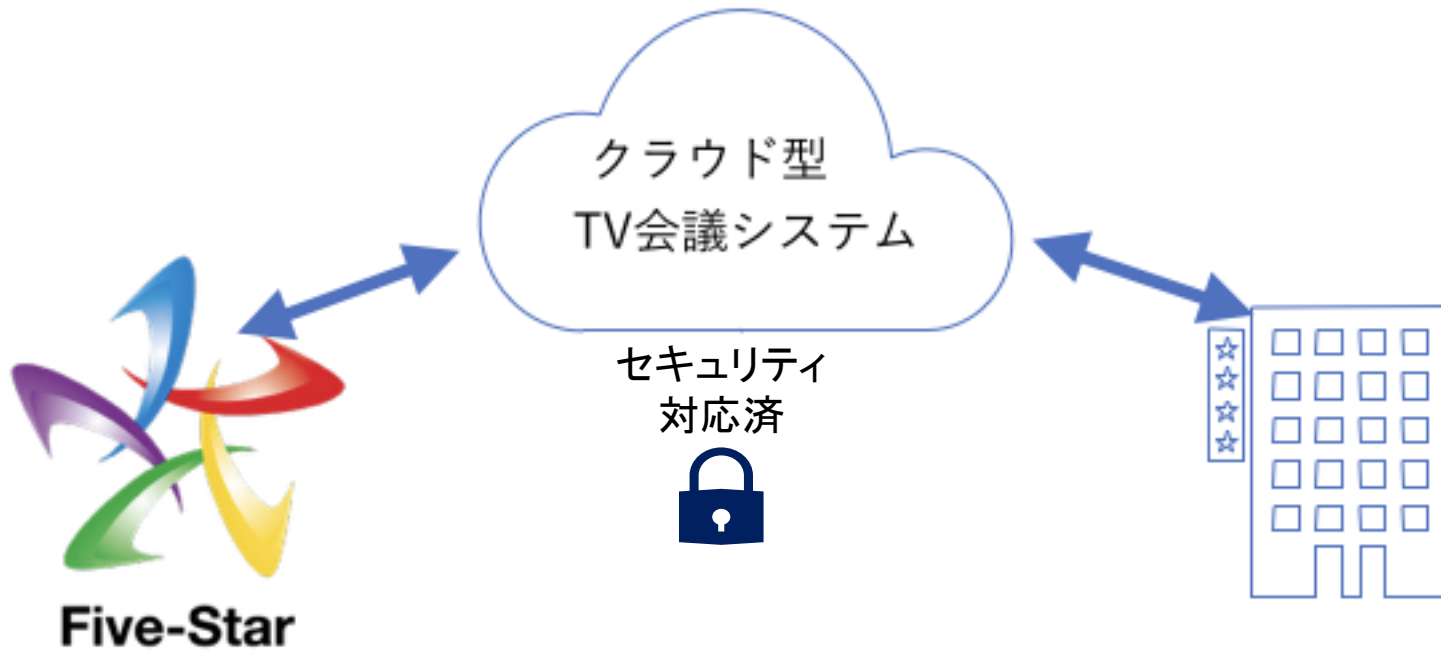


博士課程学生を含め、学生は情報
開示対象外(義務を負わせない)

共同研究契約に至る場合は従来通り。
本NDAはそれまでの検討段階用のもの。

タダで大丈夫なのか？出張もできないが。

Cloud型Web会議システムを構築し、5研の接続+PCからのアクセス環境を整えました。



まずはワンストップ窓口にご相談ください。

ワンストップ窓口（ご相談窓口）

njrc@sanken.osaka-u.ac.jp

Tel:06-6879-4300

ホームページ

<https://five-star.sanken.osaka-u.ac.jp/onestop/>